

令和6年9月19日
国立大学法人筑波大学

報道関係者 各位

附属大塚特別支援学校において「ガレージカフェ・プロジェクト」が進行中(第3報)

本学附属大塚特別支援学校において、株式会社三和製作所様にご協力いただき、旧スクールバス車庫を改修しカフェスペースにリノベーションする「ガレージカフェ・プロジェクト」を進行しています。現在は、「えがおカフェ」として生まれ変わったガレージで、製菓・販売・カフェサービス提供などを通して、障害のある人の社会参画や地域社会への貢献や交流の機会の増加を目指して取り組んでいます。5月よりプレオープンとして学校関係者向けに活動して参りましたが、この度10月1日(火)に一般の方にもご利用いただけるよう、グランドオープンする運びとなりました。営業時間は毎週水・木・金の11:00~16:00を予定しています。今後は大塚特別支援学校webサイトにて営業予定をお知らせして参ります。

10月1日(火)附属大塚特別支援学校の「えがおカフェ」は、高等部の職業の学習と、筑波大学の障害者雇用で採用されたスタッフの業務を、製菓全般と店舗運営を管理するプロジェクト・マネージャーがプロデュース&マネジメントする新しい形態のカフェとして始動します。皆様ぜひ「えがおカフェ」にお越しください。

また、本プロジェクトは本学と三井住友フィナンシャルグループとの包括的連携協定のもと、10月より「えがおカフェ at 三井住友銀行本店ビルディング」を開催する予定です。



【附属大塚特別支援学校「えがおカフェ」について】

附属大塚特別支援学校は、知的障害のある子どもたちが通う学校です。幼稚部・小学部・中学部・高等部を設置しています。一人ひとりの教育的ニーズに基づいた指導・支援を行うこと、自立と社会参加に必要な資質・能力を培う指導・支援を行うことを学校教育目標に掲げています。

(学校所在地: 東京都文京区春日1-5-5)

「えがおカフェ」は、高等部生徒や、筑波大学の障害者雇用で採用されたスタッフの一人ひとりが、ひとつのお菓子を担当し、調理道具の準備、焼成、商品化までの工程を心を込めて行っています。厳選された国産の材料を用い、添加物は一切使用せず、工程にもひと工夫を加えたお菓子は、食品加工の専門家からも高い評価を得ています。

お菓子の材料には附属坂戸高等学校の赤卵を使用し、ポスター作成には附属聴覚特別支援学校専攻科造形芸術科が協力するなど、本学附属学校が連携する取り組みでもあります。

【「ガレージカフェ・プロジェクト」について】

「えがおカフェ」の取り組みにご賛同くださった医療機器・防災防犯用品・教材教具の製造販売の老舗である株式会社三和製作所様(東京都江戸川区:代表取締役 小林広樹 氏)からご支援をいただき、附属大塚特別支援学校の倉庫(旧スクールバス車庫)を改修し、カフェスペースにリノベーションしました。



【1/29 改修前のガレージ】



【4/9 改修後のガレージ】



【「ガレージカフェ・プロジェクト」の意義】

知的障害のある子どもたちは、日常生活で人から指示をされること、支援されることなど、様々な事柄に対して受け身であることが多く見られます。えがおカフェの活動は、知的障害のある子どもたちが「人の役に立つ」、「人に喜んでもらう」経験を積むことができる場となっています。達成感や充実感を味わうことで、自信を持ち、自己選択・自己決定できるようになること、自分の意思を表明できるようになることを目標に取り組んでいます。

「ガレージカフェ・プロジェクト」の第一の目的は、本校の敷地内にある古い倉庫を、高等部の職業、中学部の職業・家庭、小学部の生活科などの学習で使用できるスペースへと変身させることです。ガレージカフェ完成後には、この施設を活用して、これまで積み重ねてきた「えがおカフェ」などの教育活動をこれまで以上に充実し、展開する予定です。

また第二第三の目的として、ガレージカフェ施設で展開する営みを通じ、従前の教育活動のみならず、インクルーシブ社会を目指した地域への働きかけや、新しい学校の機能の実現に向けた取組を実践していくことなどを掲げています。

【「ガレージカフェ・プロジェクト」のこれから】

筑波大学附属大塚特別支援学校では、「えがおカフェ」(ガレージ・カフェ)の一般の方向けの開店準備を進めて参りました。この度、10月1日(火)に一般向けのグランドオープン運びとなりました。ご支援・ご協力を賜った皆様にご心より御礼申し上げます。大塚特別支援学校の「えがおカフェ」は、高等部の職業の学習と、大学の障害者雇用で採用された本校卒業生スタッフの業務を、製菓全般と店舗運営を管理するプロジェクト・マネージャーがプロデュース&マネジメントする新しい形態のカフェを目指していきます。高校生の学習活動では週に1回の開店が目標になりますが、スタッフの加入により、現在では週に3日程度の開店を見込めるようになりました。より地域の方が利用しやすいカフェになることで社会参加の機会が増え、障害への理解も進むものと考えます。インクルーシブな社会に向かう学校の取り組みとして、学校施設の新たな活用方法と、新しい機能を実現すべく日々実践して参りますので引き続きご支援賜りますよう、お願い申し上げます。皆様ぜひ「えがおカフェ」にお越しください。



【本件に関する問い合わせ先】

- ◆ プロジェクトに関すること
筑波大学附属大塚特別支援学校
TEL: 03-3813-5569
- ◆ 取材・報道に関すること
筑波大学広報局報道担当
TEL: 029-853-2040

E-mail: kohositu@un.tsukuba.ac.jp